

道連ニュース

2016年 No.124

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

第2回道連理事会報告

10月12日道連第2回理事会が開催されました。麻田会長から北海道連続台風被害と協同組合活動の重要性等についての開会挨拶の後、林理事が議長に就任しました。山口専務理事から①11月7日に臨時総会開催する件（2015年度剰余金処分案）②第2回学校生協事業懇談会開催の件③1月17日の理事会運営の件（和田専務の学習会・懇親会）の議決事項が提案され承認されました。川原事務局長から①LPガス問題の取り組み報告と課題について②健康応援「ガン検診」推進キャンペーンについて③北海道生協連60周年記念企画具体化推進状況について（11月19日斉藤氏・1月17日和田専務・2月6日金子勝氏）の報告と審議事項が提案され承認されました。山口専務理事から①一般活動経過報告②2016年度上期決算報告

③福祉問題を総合的に考える委員会活動報告④大学生協理事長懇談会共催について⑤行政・生協連絡会議開催要領及び参加者一覧⑥2016年度北海道連続台風被害支援金募金の呼びかけと募金集計状況⑦「平成28年度生活支援コーディネーター指導者養成に係る中央研修受講者推薦」依頼について（コープさっぽろの渡辺部長）⑧北海道他報告⑨友好団体他報告がされました。井形（日生協地連事務局）から北海道・東北地連運営委員会の報告がされました。最後に白井（日生協北海道支所長）から北海道支所報告がありました。理事会終了後、今年の総会で監事に就任した渡辺（北海道医療生協専務理事）と一刀（北海道住宅生協常勤理事）の歓迎会を開催しました。

大学生協連 北海道ブロック 『理事長懇談会』開催される

10月1日(土)13:30より札幌市内ホテルにて道内12大学より理事長（5名）専務理事（12名）事業連合、道生協連、大学生協連連合会など計25名が参加し北海道ブロック懇談会が開催されました。菊池事務局長の開会宣言に続いて北海道事業連合吉見理事長より本懇談会の主旨や大学と大学生協をめぐる情勢について冒頭挨拶を受け、大学生協連連合会連帯推進部米田氏よりの「大学生協連帯の組織と事業の再構築政策」（9月全国理事会議決）についての報告と共有を行いました。

続いて同課題について検討を進める北海道ブロックのPJ座長、北海学園生協荻原専務よりの補強報告を受け、一同で連帯強化への認識を深めることができました。

続いて、参加された各理事長よりの近況報告がされ、厳しくなる大学運営と大学生協の関りや学生、組合員のライフスタイルの変化や生協離れに対応する各単協の先進的取り組み、店舗リニューアル等について報告がされ、改めて地域との関係作りの大切さや、学生の食をめぐる新しい取り組み、学内での居場所作り等について交流が進みました。後半は道生協連山口専務より、LPガス問題への取り組みと進捗。同じく松本氏よりホームシェアー事業への取り組みと現状報告が行われ、最後に教職員委員会間宮委員長より情報交換レベルを高めていく一つの取り組みとして次年度よりの新任理事の交流会の計画について報告がされ懇談会は交流懇親会へと席を移しました。

北海道連続台風被害義援金の贈呈式の報告

北海道生協連の呼びかけを受けて、早速コープさっぽろでは、宅配・店舗での支援募金を組合員に呼びかけました。10月4日、組合員から寄せられた義援金13,095,598円をコープさっぽろの林理事から日本赤十字北海道支社に贈りました。被災地への分配などは、報道機関や道共同募金会などで組織する道災害義援金

分配委員会で決められます。道連に、10月25日現在で全国の27の会員生協・県連から寄せられた義援金は16,164,328円（コープさっぽろ義援金含む）になります。11月30日の募金受付期間が終了したら、募金を受け付けている町村へ贈る予定です。

地域とともに「第2回緑愛まつり」

10月2日緑愛病院にて地域の方々への感謝の気持ちを表したいと昨年から実施されているイベントで、今回は病院のリフォーム工事が竣工したことを記念しての開催となりました。組合員さん、患者さん近隣の親子連れなど約300人の方々が新しくなった緑愛病院を訪れ元気いっぱいのイベントを楽しみました。

札幌大谷大学「木管アンサンブル amie」の演奏で催しがスタート。最初に渡辺専務から「リフォーム工事竣工を機にこれからさらに地域の方々に愛される病院を目指していきます。今日はぜひ楽しんでいって下さい」と挨拶があり、来賓の南北野町内会会長からも挨拶をいただいた後、真新しい院内各所に設けられたコーナーでさっそくイベントが始まりました。

臨床検査コーナーでは血管年齢や肺年齢、骨年齢の測定が行われ、また、体力測定コーナーではさまざまな測定にチャレンジ。くじ引きやお菓子すくいなどが楽しめる子ども縁日コーナーにはたくさん子どもたちが集まり歓声を上げていました。さらに秋野副院長による健康講話、フランクフルトやポップコーンなど

を提供するフードコーナーなど大勢の人で賑わいました。

新しくなった食堂を開放しての昼休みをはさんで、午後からはステージで消防署の隊員の皆さんによる救命救急体験、また日中友好協会の二胡の演奏など賑やかに繰り広げられたイベント盛りだくさんの楽しい一日を終えました。



「木管アンサンブル amie」の演奏でスタートしました。

LPガス問題活動報告、 日生協家庭用エネルギー学習会参加報告

10月5日、東京四ッ谷プラザエフにおいて、日生協主催「家庭用エネルギー学習会が開催され」道連からも参加し、LPガス問題について報告してきましたので参加者の感想を含めて報告します。

この学習会は、2013年に「灯油問題意見交換会」としてスタートし、2015年には、「灯油・LPガス意見懇談会」今年、さらに電気と都市ガスの自由化を踏まえて、「家庭用エネルギー学習会」に発展したものです。北海道からはコープさっぽろ林理事・エネコープ阿部部長・道連川原が参加しました。

今年の参加者は、28団体から57名の参加がありました。昨年からは大きく前進し、また参加者の特徴として、昨年までは参加のなかった生協の参加がありました。

今年の内容は、参加者が主体的で中身の濃いものとなりました。LPガス問題では、経産省・日生協からの報告と道生協連からの報告が相互に、絡んだものなり参加者に全体像を示し、問題点を鮮明にすることが出来ました。

日生協事務局がまとめました参加者からのアンケートでは下記の意見・感想がよせられました。①LPガス料金は、これまで言われるままに受け入れていまし

たが、動けば変えていけるものだと、目からウロコでした。②北海道生協連のLPガス問題への取り組みは、問題点から運動をしていく方法を教えていただいたように思う。③北海道の話はとても参考になった。④北海道のお話を聞いて、やっぱり消費者がしつこく追及しないと適当な商売をされるのだなと思った。でも2万社もあるガス会社が自己改革するには、まだまだ道のりは長い。⑤LPガスの悪い慣習を白日の下にさらし、改革し、業者も消費者も救える運動を直ぐに始める必要があると感じました。「知る」ことから始めたいです。⑥LPガスの価格差について全く知らなかったもので、とても勉強になった。⑦運動の大切さを感じました。⑧北海道の話がすごく伝わりました。⑨LPガスについて、こんなに切実で消費者に身近な問題があったことに気づきました。勉強になりました。⑩LPガス販売の問題がどんなことか、よく解りました。運動が実を結んできているようで、すばらしいですね。⑪この間の経過も含め、解りやすくご報告いただき、ありがとうございました。

引き続き、LP問題を全国課題に押し上げる努力を推進し、LPガス販売の「安定供給・適正価格・安全確保」を目指します。引き続き、ご協力をお願い致します。